

森のものがたり ~なよろ健康の森の植物たち~ Vol.4

なよろ健康の森では、季節によってどんな花が咲いているのか、どんな植物が生息しているのかなど、なよろ健康の森を彩る植物の魅力について、これまで3回にわたりご紹介してきました。最後となる今回は、晩冬・早春に開花する植物に加えて、動物や鳥もご紹介します。

ハンノキ(カバノキ科) 開花時期 11~4月

葉の展開に先立って花をつける。また、雄雌同種である。雄花は黒褐色の円柱形でしっぽのような状態に垂れ、雌花は楕円形で紅紫色を帯び、直立している。

ハンノキには、雄花と雌花、葉芽それぞれに冬芽があり、柄が美しいのが特徴である。葉の冬芽は3月下旬から芽吹き始める。



生息場所：なよろ健康の森全域

フクジュソウ(キウポウゲ科)

開花時期 3~5月

残雪を割るようになって、鮮やかな黄色い花を咲かせる。花弁は多く、20~30枚ぐらいである。日当たりが良いときは花を開き、悪いときは閉じる。



また、早春植物の代表的な種で、春先に咲き、夏に地上部を枯らし、それ以降は地中で過ごす。

生息場所：ヘルシー小路など

キタコブシ(モクレン科) 開花時期 3~5月

キタコブシは香りがとても良く、大きな花弁を6枚つける。冬の期間は3月からの開花に向け、ふさふさした毛が生えた冬芽をつけている。

生息場所：風車の森など

エゾリス(ネズミ目リス科)

エゾリスは、ピンと立った耳とフサフサのしっぽが特徴。北海道にのみ生息し、冬眠はしない。そのため、エサの少ない冬に備えてエサを地面に埋め、冬になると埋めたエサを雪原から掘り起こして食べる。

クルミの木がある場所で見ることができる。
生息場所：観察の森、キャンプ場など

シマエナガ(スズメ目エナガ科)

シマエナガは体長およそ14cm、体重はおよそ8gの日本で2番目に小さい鳥。エナガは九州から北海道まで広い地域に生息しているが、北海道にはシマエナガが生息している。



鳴き声は「チツチツッー」や「ジュルリチュルリ」など特徴的である。

生息場所：なよろ健康の森全域

生息場所(なよろ健康の森マップ)は次のコードから確認できます▶



聞いたことがある植物も(今回は動物や鳥なども)出てきたのではないのでしょうか。今回で「森のものがたり~なよろ健康の森の植物たち~」は最後となります。4回にわたる特集にお付き合いいただきありがとうございました。

これまで紹介した植物以外にも、健康の森にはたくさんの植物や動物が生息しています。ぜひ皆さんも散策して探してみてください。また、特集の参考とした資料「森のものがたり“なよろ健康の森”」(作/藪島^{のしま}魏氏)を、なよろ健康の森に位置する「もりの学び舎」に設置します(4月予定)ので、ぜひご覧ください。

★問い合わせ★ 耕地林務課(風連庁舎1階) ☎01655③2511(内線2323)